

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年5月31日

計画の名称	相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）									
計画の期間	平成27年度 - 平成28年度（2年間）	交付対象	相模原市							
計画の目標	「雨に強いまち」さがみはら（浸水被害の軽減・解消に向けて）									
計画の成果目標（定量的指標）	相模原市雨水対策基本計画に基づき浸水被害対策（河川改修）を実施する地域において、概ね時間雨量50mmの降雨に対して安全となる区域の面積を9.54 k m ² （H27）から9.71 k m ² （H28）に増加。									
定量的指標の定義及び算定式	相模原市雨水対策基本計画に基づき河川改修を行う地域における、概ね50mm/h降雨に対して安全となる区域の面積。 （安全となる区域の面積）=（改修した河川の延長に対する当該流域面積の合計）						定量的指標の現況値及び目標値		備考	
							当初現況値 （H27当初）	最終目標値 （H28末）		
							9.54 k m ²	9.71 k m ²		
全体事業費	合計 （A + B + C）	174百万円	A	174百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	-

最終評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部評価	平成29年5月 公表の方法 市ホームページにて掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28				
1-A1-1	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	都市基盤	相模川水系鳩川(道保川)都市基盤河川改修事業	L=64m 護岸	相模原市					36.0	
1-A1-2	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	総流防	相模川圏域総合流域防災事業(準用河川鳩川)	L=745m 護岸ほか、用地、実施設計	相模原市					138.0	
1-A1-3	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	総流防	相模川圏域総合流域防災事業(準用河川八瀬川)		相模原市					0	
小計（河川事業）												174.0			
合計												174.0			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28				
合計															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28				
合計															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・河川改修を行った結果、治水安全度が向上し、浸水被害は軽減傾向にある。

定量的指標の達成状況

指標（概ね50
mm/h降雨に対し
て安全となる区
域の面積）

最終目標値

9.71 k m²

目標値と実績値
に差が出た要因

用地の確保が出来ず、計画どおり事業を実施できなかったため。

最終実績値

9.68 k m²

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）については平成29年度以降も引き続き河川改修を行い、流域における治水安全度の向上を図る。

